

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門性を活かした支援	・特性や個人に合わせた教材、ツールの提案を行っています。実際に試して頂くことでお子さんに応じた支援ができるように心掛けています。	・教育や保育の実態を把握しながらさまざまな情報収集を行っていただけるように努めます。
2	・保護者が安心できる支援	・保護者の方が不安や心配されていることなど共有させていただき安心感に繋がるように努めています。	・今後も園や学校の先生の専門性を活かしながら、できる環境での支援を一緒に考えていただけるように努めます。
3	・訪問先との密な情報共有	・頻繁に訪問先の担当者とカンファレンスを実施し、担当者の意見を取り入れて支援を行っています。	・更にニーズを分析し、訪問が必要なケースと事業所内相談や療育、支援グッズ使用等の提供で対応できるケースなど段階や必要に応じた支援を行えるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問に行ける職員が限られている	・訪問件数も少なく、同行できる機会も少ないため訪問職員以外の職員の経験値が浅いです。	・事業所内会議をしていますが、アウトプットする機会がありませんので、今後も訪問に同行して段階的に訪問にいける職員が増えるように進めてまいります。
2	訪問支援を行っている職員が1名の為、他の職員の意見が把握しにくい	・検討や共有の時間は取っていますが、児発管と訪問支援員での情報共有に留まることもあり、職員全体での共有は十分には行えていない状態です。	・訪問用の記録ファイルを作り、情報共有が滞ることなくできるようにします。
3	訪問にいける曜日が限定されている	・事業所において、固定担当利用児を抱えながらのサービスを行う為、時間の制約があります。	・事業所内でフォローし合いながら、訪問にいきやすくなるようにしていきます。 ・訪問できる職員を増やせるように、経験を積めるように配慮します。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合

公表日 2026年 3月 2日

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	1					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。				1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
	28	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2026年	3月	2日
リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合	利用児童数	1	回収数	1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。				わからない	・先生方と情報を共有しながら研鑽に努めていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1			また、体育のやり方を相談させていただきたいです。	学校での様子や環境を踏まえ、先生方と共有しながら進めて行けるように努めてまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
					・アンケートにご回答頂きありがとうございます。また、保育所等訪問事業へのご理解ご協力頂きありがとうございます。お忙しい中、訪問やミーティングにお時間を割き、ご対応頂き誠にありがとうございます。学校の状況に合わせながら日時調整を行い、先生方の負担が大きくならないように訪問させていただくように努めていきます。今後ともよろしく願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ河合		公表日		2026年 3月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5	1	現状実施している訪問支援に使用する教員教材は適切と思います。	・今後、他のケースにも対応していく為に教員教材を取り揃えていく必要があると思います。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	現在契約人数が少ない為現状の配置人数で適していると思われます。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	基本的には訪問員が設定と振り返りを行いますが、職員間でも共有の機会を設けて意見をもらえるようにしています。	すべての職員に共有します。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者から頂いた意向等を把握し、それに対する業務改善案を検討する機会を設ける事ができています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		訪問支援を担当している職員は限られていますが、共有会議の機会を訪問後に設けていますので、その際に他の職員からも意見をもらえるように務めています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	第三者による外部評価は行っていません。	すべての職員に共有します。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	事業部内の研修会にて事例検討会を設けており、職員の資質の向上に繋がるよう努めています。	すべての職員に共有します。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		保護者のニーズを中心に聞き取りを行い、本人の集団生活における課題を分析し、必要な訪問支援を計画しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		訪問支援を担当している職員は限られていますが、共有会議の機会を訪問後に設けているため、他の職員の意見も聞き取り、よい良い訪問支援にすべく努めています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		定期的に訪問先施設や担任の意向も聞き取るように努めており、目標の見直しに反映するようにしています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	基本的には訪問員が設定と振り返りを行いますが、職員間でも共有の機会を設けて意見を集め検討するように努めています。	すべての職員に共有します。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		行動観察を主にインフォーマルなアセスメントを実施しています。	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントは実施できていない為、今後必要に応じて活用を検討していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		基本的には訪問員が設定と振り返りを行いますが、職員間でも共有の機会を設けて意見を集め検討するように努めています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	ミーティングや報告書の回覧にて共有を行い計画に沿った支援を実施しています。	すべての職員に分かるように共有します。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前は担当職員間で、訪問後は全職員間で報告会を実施し訪問支援の進捗状況と本人の現況に関して共有を行うようにしています。		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		担当職員間でその日行われた支援の振り返りを実施しており、改善点や次回訪問の打ち合わせを行っています。			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		訪問先の体制や支援方法を考慮した上で改善案を立案、検討するように努めています。			

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		支援の報告書を毎回必ず作成し、ミーティングでの共有・全職員で書面を回覧にて共有しています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		保護者とは毎回の訪問支援後に報告・共有・相談を行い、訪問先とは定期的にカンファレンスの機会を設け、目標の見直し等を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	サービス担当者会議・関係機関との会議は今年度実施されていない為参画はしていませんが、実施される際は必ず状況をよく理解した者が参加するように努めています。	すべての職員に共有します。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	訪問先の教育機関とは連携を行う事ができていますが、相談支援員等の関連機関との連携体制は不十分だと思われる為、今後体制の見直しが必要と感じます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	就学の際にはサポートブックを作成する等して保育所・就学先の小学校と情報共有を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	3	事業所内・事業部内で研修会は実施していますが、外部の専門家から助言を受ける等は行えていません。	研修の機会を作っていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		6	自立支援協議会、地域の子ども会議等には現状参加ができていません。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者とは現状の子どもの姿や課題、今後の支援方針などについて頻りに話し合う機会を設けています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	該当する支援プログラムや研修会は実施できていません。	情報提供をごまめに行えるように検討します。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		説明を行っている為改善点は特にはないです。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		初回訪問前に書面を郵送または保護者から受け取って頂き概要や目的をお伝えしています。また初回訪問時のカンファレンスにて詳細を資料参考にしながら口頭でも説明を行い合意を頂いています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		現状保護者・訪問先の職員の意向は聞き取った上で尊重した支援計画を立案していますが、子ども本人の意向を聞き取る機会は少ないです。	・今後は子どもの意向やニーズも聞き取っていくようにします。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		契約前・契約時に資料を用いて支援の概要や目的に関する説明を行い、計画に関しても説明の上合意を頂いています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		訪問支援後の事業所来所時に必ず訪問内容を保護者に報告する機会を設けており、その際に子育てに関する悩みも聞き取り、必要に応じて助言を行うようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	現状父母の会や交流会は開催できていません。今後利用人数が増えた際や就学に対する不安を抱えている保護者向けの研修会や茶話会を開催する事も検討しています。	今後に向けて協議を重ねています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		利用者からの申し入れがあった場合には一旦傾聴した後管理者や職員と共有・検討を行い対応するように努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	現在プライバシーの問題によりSNS等での発信は実施していません。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		基本的に第三者に対して情報を開示する事はありませんが、社内勉強会や関係機関との情報共有を行う場合には、必ず保護者に説明・同意を得た上で使用するよう配慮しています。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		定期的に保護者ともしっかりと話し合える機会を設けており、難しい場合は電話連絡を用いて情報の伝達を行っています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		相談があった場合その場で助言ができる際は行い、情報の精査や各所への確認などが必要な場合は後日行えるように体制を整えています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6		施設への訪問時に担当教諭とのカンファレンスを行う事が多いです。訪問時に行えない際は後日電話によるカンファレンスを実施する事もあります。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		毎回訪問後は必ず報告書を用いて共有を行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		関係機関との情報共有を行う際は、事前に保護者に目的と共有内容をお伝えし許可を頂くように努めています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		決して助言・指導するのではなく、あくまで訪問先の担当者の支援方針や内容に寄り添いながら、より良い方法の考案を一緒に行うよう努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		訪問支援に限らず全ての児童と支援に対しての想定と訓練を行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全管理が十分された中で支援を実施している為改善点は特にありません。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		現状そのような場面はありませんが防止策を研修やミーティングにて共有しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		訪問支援児童に限らず、すべての児童に対する虐待防止の為研修やミーティングを行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		毎日ミーティングの際に身体拘束の有無について参加スタッフ全員で確認を行っており、あった場合には必ず要因と今後の対応方法についても検討を行っています。	